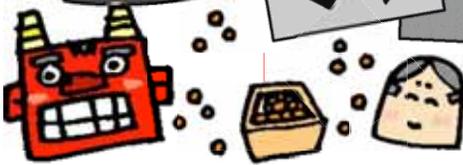


スクランブル



29年ぶり!! 常用漢字改定

29年ぶりの改定となった「常用漢字表」が話題となりました。このたび、旧漢字表から5字が外され96字が追加になりました。最近では漢字離れといわれていますが、パソコンや携帯メールなどの普及で、書くことは少なくても、簡単に交換できるため、難しい漢字を使ったり読んだりする頻度が増えた事もきっかけになったのかなと思います。

当てる? 読み方いろいろ

改定とは別に「常用漢字表」を改めて見て、面白かった(?)のは、「いわゆる当てる字や熟字訓など、主として一字一字の音訓としては挙げにくいものを語の形で掲げた(内閣告示)」付表の部分です。

小豆(あずき)・五月雨(さみだれ)・浴衣(ゆかた)など、確かに文字単位で読み方を規定はできませんよね。意外に、見(み)い(い)さん・父(ちち)さん(とうさん)なども、わざわざ付表で別扱いに掲げられる類の読みである事を再認識しました。

「常用漢字表」って?

「常用漢字表」とは『一般の社会生活において現代の国語を書き表すための漢字使用の目安を定めた(内閣告示)』ものです。

新聞・雑誌・放送などでは、それぞれ独自の基準を設けて対応をしています。新聞や放送局によって、多少使用の仕方によらつきがあるのはそのためですね。「常用漢字表」はあくまで『目安』で、強制力はないため、ある意味独自の運用が可能ということです。

漢字の歴史は古くても、使っている人や時代は移っていきます。社会にあった漢字の数は時代によって増減はしても、分解して規定しきれない日本語の美しさはいつまでも大切にしていきたいと、改めて感じました。(漢字?)

これ読めますか〜?

今回は、29年ぶりに改定された「常用漢字表」や品川区独自の取り組みなど漢字について調べてみました。



品川区オリジナルドリル「漢字ステージ」

「漢字ステージ」とは、品川区教育委員会が発行する品川区独自の漢字教材です。区内の小中学生が漢字の勉強に使っています。品川区小中一貫教育担当課長 和氣正典さんにお伺いしました。

作成のきっかけは?

子どもたちの漢字定着率の悪さが心配になったからです。漢字を知らなければ本も新聞も読めません。視野を広げ、可能性を高めるために漢字が必要だと感じました。このため、国の学習指導要領より316字多く書きを教えることともしました。

開発した目的は?

既存のものを使わずに、わざわざ開発した目的は、漢字を覚えてもらうには、まず漢字嫌いにさせない事です。部首が同じ物や画数が同じ物を書いていくドリルでは、漢字を覚える事を楽しめなれないと思ったからです。

工夫した点は?

漢字を「学校生活」「旅行」など身近なテーマで100ステージに分け、関連付けて覚えられるように配置しています。また、クリアするとシールを貼ったり、色を塗ったり、ゲーム感覚で楽しめるようになっています。

苦労した事は?

どの漢字とどの漢字を組み合わせるか? その漢字を一番覚えやすい熟語は何か? を考えるのが大変でした。完成までに2年近くかかりました

成果はどうですか?

成果は確実に出ています。学力定着テストの点数も上がっています。「漢字ステージ」は大変評判も良く、初版が売り切れる程です。

追加・変更の予定は?

今回追加変更された常用漢字については、読み書きの指導をどの学年で、どの程度教えるのか、検討しています。

今後の目標は?

小学生で英語の授業もやっています。やはり基本は国語と算数。品川区では国語の時間を増やし、力を入れています。今後は漢字の定着を図りつつ、読解力も深めて行きたいと思っています。

教育に対する非常に熱いお話を伺う事ができました。「漢字ステージ」は一般の書店やインターネットで購入する事ができません。漢字学習中のお子さんだけに、検定試験や資格試験にも役立ちそうです。

【石川・神尾・上佐古・嶋村】

発見! まちのグルメ

地元で愛されるピザ・イタリア料理店

一本橋通り商店街から立会道路沿いに移転して6年。昭和50年より地元の人に愛され続けているこのピザ屋さんは、お子様連れから若者、グルメ通の女性たちなど、多くのお客様が訪れる人気店。お店の看板メニューであるピザの生地は、薄皮とパン生地の間で、パリパリしているけれど食べごたえがあります。



トッピングは45種類もあり、自分好みの組み合わせを見つける楽しさがあります。さらに、ドリアやグラタンに使用しているチーズは、塩分を考慮し、3種類のチーズをブレンドしているそうです。

お持ち帰り後は、オーブントースターで温めると美味しくいただけますが、「半焼き」と注文して、お家で仕上げ焼きをすると出来立ての味わいが楽しめますよ!

寒いこの時期、トロット口のあつあつチーズたっぷりのピザやドリアはいかがですか? 【中山・神立】

10代の♡10代による✪10代のための投稿コーナー

イラスト

クラランブル

第4回

初投稿! 《彩》さんの作品を紹介します。お気に入りの場所には、きっと本人がいるはず...。『どの子かなあ?』って想像するのが楽しかったよ。《彩》さん、ありがとう!!

あなたもこのコーナーに参加してみよう!!

イラストのお題は、例えば「近所のお気に入りの場所」

A4版の紙に横書きで、お気に入りの理由、名前、年齢を書き添えて、応募してね

【小坏・山本】

ご応募、お問い合わせは、大井第二地域センター3772-2000まで。



近所のお気に入りの場所
~お気に入りの理由~
静かで、落ち着く場所だから。
【彩・12歳】

プレイバック!! スクランブル

時代物の赤レンガ ③
ライオンからほど近く、所々に残っている古い赤レンガの塀が目を引きました。見るからに頑丈な造りのこの塀は、御屋敷とか工場跡だという説があります。取材で確かだったのは戦前からあったということでした。
昔、このあたりは後藤毛織の一族が住んでいたそうで、毛織の町でにぎわった一本橋通りが想像できます。もしかしたらこのレンガ、明治・大正の空気を吸っていたのかもしれないね。



今ほ...
今も同じ場所で人々を見つめています。



昭和63年に創刊号が発刊されてから、地域紙としての歴史は今年でなんと23年!!
当時取り上げた情報は今、変わっている? 変わっていない?!



1丁目20番の時計 ①
この時計は一本橋から駅前にもぬける道の入口近くにあり、お惣菜屋さんから車庫に変わる時、中に合った時計を皆で利用できるように外壁に取り付けたそうです。
気が付けば通るたびに見上げてしまいます。子ども達も時間を見に来るそうです。



地域の不思議発見 何だろろう?

この記事は、第34号から第48号まで、14回にわたって連載されました。今回は、一本橋通り近辺を取り上げた、平成9年3月発行の第35号から紹介します。
【榎山】